

奈良保育学院附属幼稚園 活動報告(成果と課題)

1. 保護者ボランティアの募集



5/24 サツマイモの苗植え



7/1 年長「思い出保育」

- ・ 予定人数を超える多くの申し込みがあり、初めての方を優先して協力を願った。
- ・ 活動後のアンケートでは「保護者との交流ができた」「子どもの様子が見られてよかった」「先生の大変さが分かった」など、保護者間交流に加え、園の教育に対する理解にもつながった。

2. 子どもの様子の発信(保護者連絡アプリ「コードモン」を活用して)

〔個別配信例 (SK 君に配信)〕

水時計



「ちょっとまって!いくよ!せーの!」

友達が始めた砂時計に興味を持ち、そこから自分のアイデアを活かして水時計を作りました!「自分はこれを作りたい!」という気持ちを出して挑戦する姿が嬉しいです😊今日は同じ水時計なのになぜか1回目、2回目、...と毎回秒数が違うことを不思議に思ったり、友達と声を掛け合って協力しながら他の砂時計の秒数を計り、記録した紙を貼り付けたりしていました。これからさらにどんな学びがあるのか楽しみです😊

〔全員への配信例 (6/8 に配信)〕

6月7.8日の様子



初めての茶道教室は先生方に大変ほめて頂きました!✧図鑑にのっていた実験に挑戦!見事大成功😊

- ・ 「コードモン」は、写真1枚の配信は写真が大きく、複数枚配信の場合は小さくなるという機能となっている。
- ・ 個別配信では、個人の成長が分かるように文章を載せ、全員への配信では文章表記よりも写真で様子を伝えるようにしている。

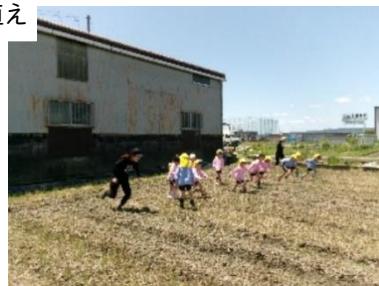
3. 野菜の収穫と苗植え

- ・ 広い畑をお借りした野菜栽培。一人ひとりの十分な活動を保証することができた。
- ・ 活動後は、田植え前の田んぼで走ったり生き物を探したりと…。園庭や運動場のように整地されていない地面での活動は、子どもにとって貴重な体験となった。

5/10 玉ねぎの収穫



5/24 サツマイモの苗植え



4. カリキュラムに組み込んでいる活動



〔正課教室〕 体育教室



英語教室



茶道教室(6/7)



〔高校との連携〕 毎月のお誕生日会



にっこに祭り(5/31)

5. 学院との連携(学院生の観察実習)



・「にっこに祭り」は、本年度は幼稚園・こども園・保育園の3園の年長児が高校の体育館に集った。

・高校の保育コースの生徒や学院生が保育現場を知る機会となるとともに、子どもにとっても良い機会となった。

・入園説明会では開催日を「家庭保育協力日」としたことで、施設全体を使った運営ができた。また、職員一人ひとりが、参加された未就園児と密に関わることもできた。

・白藤アカデミーの参加者からは、「特に土曜日の遊びの場が不足している」との声があった。

6. 園児募集にかかわって



〔入園説明会〕 全体説明



スタンプラリー



〔白藤アカデミー〕 7/8

7. 全園児揃っての運動会の開催(10月9日)



- ・オープニングは、恒例となっている年長「つき組」の鼓隊演奏。全園児の保護者・ご家庭の前で披露することにも大きな価値が…。
- ・卒園児の競技にはたくさんの参加者が…。なかには親子で参加するケースもあり、親子孫3代に愛される幼稚園を感じることができた。



- ・観察実習で顔なじみの学院生の協力を得て、運動会ではスムーズな競技の進行を行うことができた。

(Tシャツ販売の収益)

小人：114着

大人：97着

合計：211着

収益：87,100円

8. 移動動物園の開催(10月28日)



- ・当日の賑わいはもちろんのこと、当日に向けて園児が「しおりづくり」や「インタビュー」、「替え歌づくり」など意欲的に活動できたことに大きな価値があった。
- ・当日は道路やマンションの窓から興味深そうに見ている方もあり、幼稚園の取組を地域にアピールすることにもつながった。

9. 公開保育の実施(11月1日)



10. 1歳児未就園児クラスの開設



- ・公開保育は申し込み参加者が10名であったが、当日飛び込みで参加された方もいた。
- ・全体会では資料を60部用意していたが、資料が不足する人数の参加者があった。
- ・午後からは神戸大学・北野教授に公開保育のご指導をいただき、これからの保育の方向性を確認することができた。



[未就園児説明会(11/18)]

- ・11月18日、22日の説明会で、2歳児クラスに9名、1歳児クラスに7名の参加者があり、1歳児クラスのニーズも高いことが分かった。
- ・白藤アカデミー・園庭開放から説明会に来るようになった保護者が6名おり、こうした子育て支援が園児募集につながっていくことが見えてきた。